

令和7年度 市民講演会「多様性を認め合いともに築く共生社会へ」 開催報告

1 開催状況

開催日時：令和8年2月7日（土）午後1時30分～午後3時40分

会場：鯉城ホール

参加者数：387名

2 プログラム

<第1部>

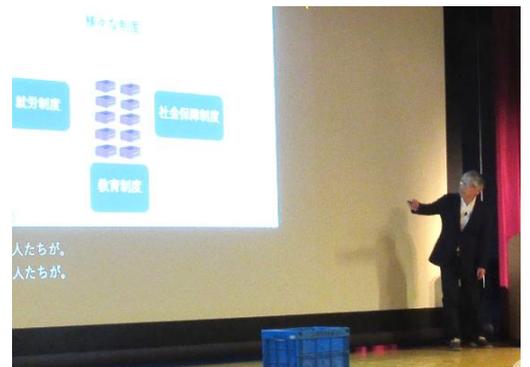
基調講演「障害者差別解消法がめざす社会」

講師：手嶋 雅史 さん

（椋山女学園大学人間関係学部人間共生学科教授）

手嶋さんによる基調講演では、障害者差別解消法制定に至るまでの経緯や法律のポイント、名古屋市障害者差別相談センターの説明、障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例の改正のポイントについてお話しいただきました。また、日本の人口における名古屋市の人口や障害のある人の割合について、箱を用いた説明でとてもわかりやすく表現していただき、名古屋市が目指す障害のある人もない人もお互いを思いやる気持ちを持ちながら、安心して共に生きることのできる社会についてお話いただきました。

会場の皆さまに語りかけるようにお話いただき、会場が温かな雰囲気になれ、法律の内容などの難しい話も、頷きながら熱心に聞く様子が見られました。



<第2部>

特別講演『誰も排除しない「まぜこぜの社会」をめざして』

講師：東 ちづる さん

（俳優・一般社団法人 Get in touch 代表）

東さんが登場すると会場は大きな拍手で包まれました。

東さんによる特別講演では、一般社団法人 Get in touch の活動に至った経緯や、その内容について、動画を用いてお話しいただきました。脳性麻痺のある人との出会いをきっかけに新たな啓発プロジェクトを始めたことや、困っている人や苦しんでいる人の全てを知ることは難しいけれどもそれでも自分にできることをやる、とのお話が印象的でした。

Get in touch がめざす誰も排除しない「まぜこぜの社会」を、マイノリティパフォーマー集団「まぜこぜ一座」のお話や動画を通じて考える時間になりました。



その後、東さんが創作した妖怪についての紹介もあり、様々な性格を持った妖怪に愛嬌が感じられ、マルチな才能を発揮する東さんに、会場の皆様も魅了されていました。

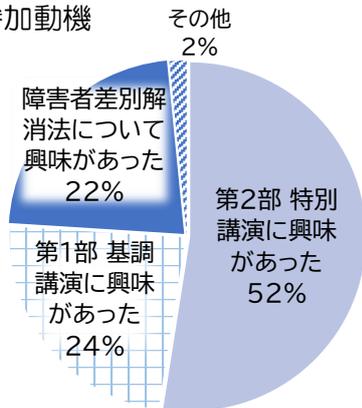


3 アンケート結果

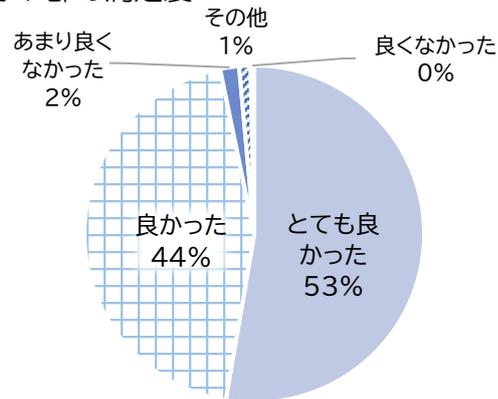
■アンケート回収数：285名（回収率 73.6%）

■主な質問と回答内容

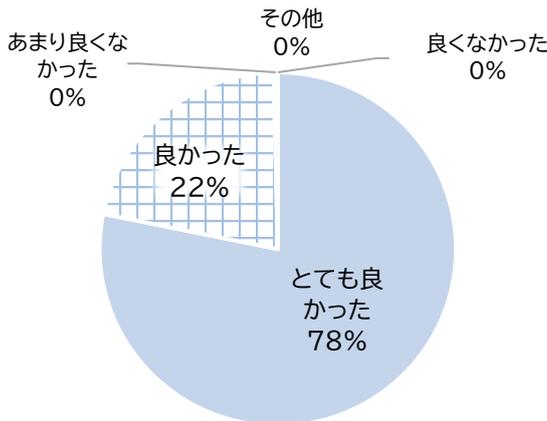
①参加動機



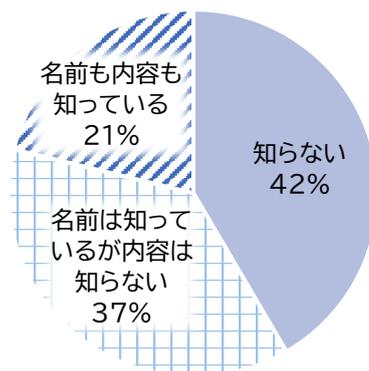
②第1部の満足度



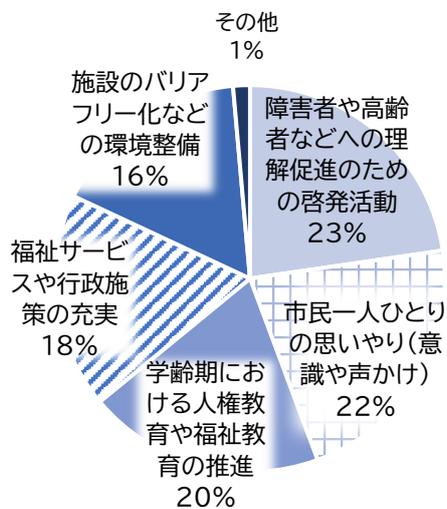
③第2部の満足度



④障害者差別解消法の認知度



⑤共生社会の実現に向けての課題



⑥感想

- 医学モデル、社会モデルについてとても分かりやすくお話しされていたように思いました。社会の一員である私たち一人一人が他を受け入れる事が差別解消の一步であると思いました。
- 人は目に見える障害もあるが、それ以外の障害もある。皆と助け合える社会はとても大切だと改めて思う。
- 困った時に助けてと声をあげること、それを素直に受け止められる世の中に…何をすれば良いのか考えます。
- まぜこぜのお話を聞き、コミュニケーションのあり方、取り方に色々な気づきがありました。全ての人に対して”配慮”ということを考えてみたいと思います。元気な東さんから元気をもらい明日、このあとも楽しく生きて過ごせます。